

 福岡県東峰村議会だより

議会ウォッチ 46号

2016年10月

平成28年10月15日発行



ココに注目!

期待のニューフェイス P2

9月定例会トピックス P4

ここが聞きたい! 《一般質問》 P7

表紙 / 東峰学園運動会より

期待のニューフェイス

今年4月より地域おこし協力隊として着任された岩間杏美（あみ）さんにお話を伺いました。岩間さんは現在ポーン太の森キャンプ場の運営支援を主な活動としています。



東峰村の自然が大好き

「ここに来る前は何をされていたのですか」

任意団体に野生キノコの自然ガイドをしていました。

「岩間さんが生きものの好きになったのは」

クラゲやバッタを捕まえたりすることから始まりました。それから専門的になり、昆虫、鳥、

植物、そして今は断然きのこが好きです。

「なぜ東峰村の協力隊に応募しようと思ったのですか」

生きものやスケッチの知識を深めたいと思っていたところ、東峰村の協力隊を紹介してもらい応募しました。

「東峰村の印象は」

元々自然が大好きなので、毎朝の鳥の音が聞こえることや、ゴミ出しに行くときに足に草が当たる感覚、近所の人が「キノコ生えとったよ」とか、毎日新しい発見があつて楽しいです。

「活動していて思うことは」

デスクワークよりも、まずは地域を知ることが大事だと思います。地名もわからないし、地域の方とどういった話をすればいいかわからないので、時間を見つけて仲良くなりたいです。一つのミッションにとらわれずに幅広く活動したいと強く思います。

「これからやりたいことは」

村内を回って、ガイドマップ型の冊子を作りたいと考えています。四季の花の姿も違つし、見られるキノコも違います。単に見るだけではなくて春になったら「この桜がきれいです」、秋になったら「こんな木の実ができます」などを紹介できる本を作りたいです。



見せてもらった冊子はすでに9冊目。絵は高校のデザイン科で勉強し、大学では造園学科で植物について学んだそうです。

「キャンプ場でのイベントは計画していますか」

10月26日にきのこ観察会を計画しております。キャンプ場でのきのこを採取し、観察。昼食に村のお米を使ったおむすびと、バイキング形式のきのこ料理も考えています。ぜひご参加ください。

つづみの里 リニューアル



陶器エリアはオープンスペースに

陶器販売スペースが2年ほど空きスペースとなっており、つづみの里全体のリニューアルは私たちの希望でした。お客さんからは「雰囲気が変わったね」といい感触です。

これまで陶器スペースは鼓地域7軒だけでしたが、陶器組合にお願いをして今回は15軒入っていたできました。

現在、役員には農産物から宝



(有)つづみの里 代表 小野保徳さん

珠山の方にも入ってもらい、また、陶器の方も代替わりして若い方が多く入りました。そこで、若い役員の新しい考えもこれからの運営に活かしていかなければなりません。12月から3月初めまではお客さんが少なく、その間はインターネットを利用した形も考えています。

また、改装した農産物スペースも、今は竹の子の戻し方わからないお客さんも多いので佃煮にしてみたり、工夫した「田舎のモノ」を売ることが話し合っています。

今回の改装では外面がほとんど変わっていないので、改装に気づいてもらう工夫を今後考えております。

9月定例会トピックス

平成28年度9月定例会は9月8日から20日までの会期で開催しました。
27年度会計歳入歳出決算認定4件、27年度会計補正予算3件、条例改正1件、推薦及び任命4件、報告1件、請願2件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また、8人の議員が一般質問を行いました。

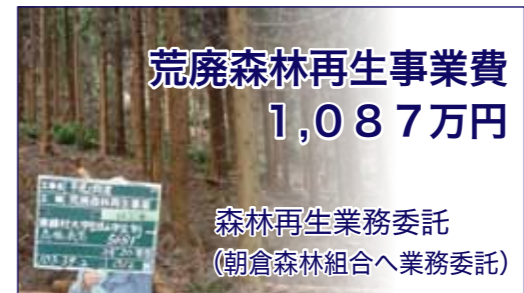
一般会計補正予算

補正予算は1億9377円を追加し、36億4823万円とした。(主な補正額は左記のとおり)

住宅建設事業費 6,661万円
旧愛林学荘跡地に住宅建設する為の地盤改良基礎工事(村の自主財源)



荒廃森林再生事業費 1,087万円
森林再生業務委託(朝倉森林組合へ業務委託)



安全・安心センター建設事業費 430万円
小石原駐在所移転に伴う舗装工事及びカーポート設置工事費

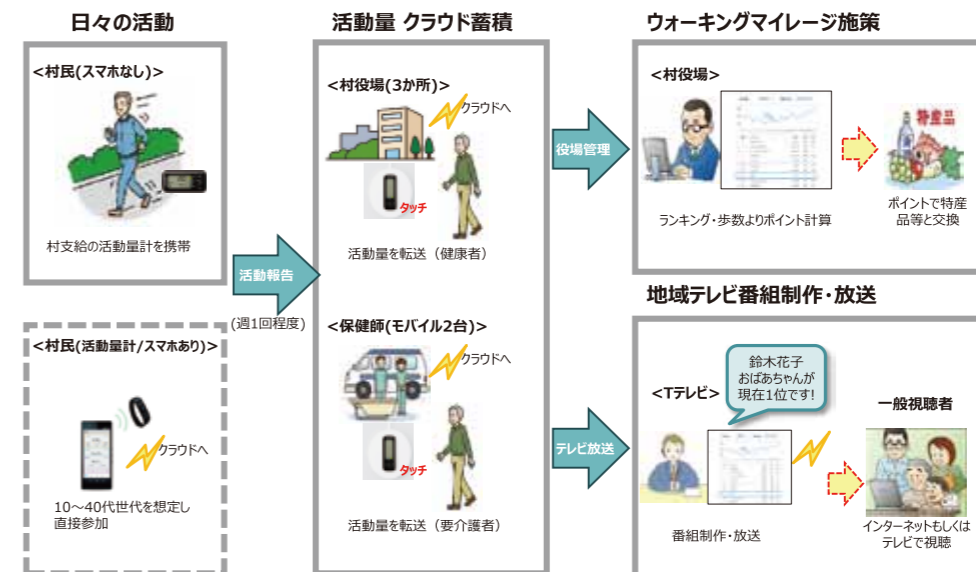


道路維持費 1,400万円
村道維持補修工事(11ヶ所)



村民全体の健康増進を目指し ウォーキングマイレージ事業追加 補正額 1,390万円 (地方創生推進交付金及び村債)

ウォーキングマイレージは、村民の皆さんに活動量計(万歩計)を貸与し活動状態を一括管理(役場にて一括管理)することにより、村民全体の健康増進を目指す事業です。
活動量(マイレージ)のポイント換算には、歩数等によるポイント換算と、健康に関する取り組みをした場合の付与ポイントがあります。(ポイントは商品等に交換できます)



決算審査委員会

課別の時間外勤務の実態は

議員 時間外手当を確認したが、課によっては残業が多くないか。
総務課 企画政策課は地方創生関係で増えている、農林観光課は観光に関するイベント関係が土日祝日に集中しているの多い。村の財政に圧迫をかけないよう進めていきたい。

移住者は増えたのか

議員 地域活性化住宅事業で定住人口を増やす目的で建設されたが、村外から何世帯何名移住してきたか。
企画政策課 村外からは3世帯で5人。その内、単身住宅に2名と家族住宅に1家族です。

上限ありきでは

議員 観光プロモーション事業の交付金額は上限50万円だが、ほとんどの団体が上限金額で申請している。担当課の考えは。
農林観光課 目的は、一人でも多くの観光客を誘致する、交流人口を増やす、村の観光PRに努めてもらうための事業を支援していくものと理解している。完全な精算ができないと補助金が受け取れない仕組みとなっている。

適正活用できているか

議員 地域協働の村づくり事業の採択交付金額の決定過程は。
総務課 庁議(全課長・村長・副村長・教育長)で協議している。
議員 採択された事業で、他の事業、他の課にまたがった事業もあるが、これをどう精査されているのか。
総務課 村としては、事業をする地元に有利なほうを勧めている。

事前調査は十分か

議員 畦畔保護工事の予算額と請負金額と精算額が違っているがどうしてか。
農林観光課 概略設計で当初発注しており、最終的に現場の状況に合わせた精算となります。十分な事前調査を行い、発注をしていきたい。
議員 畦畔工事の場合、受益者負担があるが、工事金額が増えれば負担額も増えて困るのではないか。
農林観光課 地権者には予算額は目安として説明しており、変更があれば理解を求めて進めていきたい。



畦畔コンクリート

入札額は適正か

議員 95%以上の落札率の自治体が報道されていたが、本村では入札が適正に行われているのか。
農林観光課 東峰村では予定価格は公表していないが、仕様書に基づく資材や歩掛り諸経費率等は公表されており、予定価格や設計額は共有された資料を基に入札しています。

村税の徴収は

議員 村税の収納未済額が総額850万円あるが、どのように徴収しているのか。
住民税務課 県税事務所から職員が来て、滞納者に対し納税の相談を行っている。

ここが聞きたい!

一般質問

1. 梶原 光春 議員
効率的な行財政と人口対策は
2. 黒川 隆康 議員
LEDへの交換による支払い金額と年数は
3. 長澤 貞義 議員
防火水槽を設置する際の基準は
4. 梶原 文明 議員
東峰学園給食費の負担は
5. 柳瀬 弘光 議員
旧宝珠山小活用は住民に意見を聴いたのか
6. 高橋 弘展 議員
専門職を嘱託職員で対応するのは好ましいか
7. 高倉 寛視 議員
有害鳥獣防護柵の補助対象は
8. 佐々木 紀嘉 議員
高齢者の配食サービスを増やすにはどうするか

議員 職員の採用は毎年行うのか。
 村長 一時期に退職する者が間に控えているので計画的に採用している。

議員 各地区で後継者が不在で、集落が早いスピード寂れていっている。緊急に対策を立てねばならないが、計画は。

村長 働き場が無くて食べていけないと言う所が一番大きな

議員 村債が23億9千万円、基金が39億9千万円(27年度末見込)と、基金残高がかなり多くなっているが、今後の使用目的は。

村長 実質の村の借金は7億強となる。人口減少対策や元気な村づくり、及び雇用対策に重点を置きたい。



梶原 光春 議員

効率的な行財政と人口対策は
 ー村長 元気な村づくりが大事と考える

課題と認識している。

議員 観光立村と美しい村づくりの中で、JR岩屋駅周辺と竹地区柵田周辺の整備計画の考えは。

村長 岩屋湧水を汲みに来た人々に物を買って帰れるような施設を考えたい。JR沿線の整備は林道等整備が終わってからの進めたい。竹柵田は本村の観光の目玉と考えている。



岩屋駅前

第8回定例会(9月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:●

区分	議案一覧	長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
条例	東峰村ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	●	●	○	○	○	○	○
補正予算	東峰村教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	平成28年度東峰村国民健康保険事業計歳入歳出補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	平成27年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度株式会社宝珠山ふるさと村決算状況報告について	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	「地方財源の充実・強化を求める意見書」の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育国庫負担制度2分の1復元」にかかわる意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第7回臨時会(8月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:●

区分	議案一覧	長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
補正予算	平成28年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	●	○	○	○	○	○	○

第6回臨時会(7月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:●

区分	議案一覧	長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
その他	工事請負契約の締結について(東峰村小石原浄水場系統改良工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結について(東峰村小石原浄水場系統改良工事(電気計装設備))	○	○	○	○	○	○	○	○	○



黒川隆康 議員

LEDへの交換による支払い金額と年数は
— 総務課長 年間273万7920円で10年間の支払う

村は、8月2日に村内8つの公
共施設の照明1821基をLE
Dに交換する業務契約を「ウエ
ストエネルギーソリューション」と
結んだ。5年契約でLED照明
への交換や維持管理、修理費は
全て同社が負担。年間約17万円
の光熱費削減となる予定。

議員 LEDに交換する公共施
設8か所はどこか。

総務課長 宝珠山庁舎・小石原
庁舎・いずみ館・東峰学園・美星
保育園・小石原診療所・鼓診療所
・東峰テレビの8か所。

議員 ウェストエネルギーソリ
ューションへの支払い年数と金額は
いくらなのか。

総務課長 年間273万7920
円を10年間支払うことになる。



庁舎のLED照明

議員 他の事業にも通じるこ
ろで、常に実勢価格や適正価格を
念頭に村独自の積算に取り組
むべきだと思うが、どのように考
えているのか。

村長 税金を使ってやることな
で、そういった点には十分注意を
してやっていきたい。



長澤貞義 議員

防火水槽を設置する際の基準は
— 村長 新設は水利の悪い所や建物の密集地が優先

議員 防火水槽を設置する際の
基準は。

村長 更新の場合は設置年数が
古く経年劣化による損傷や、機能
の著しい低下や転落の危険性があ
る物が優先される。新設では消防
水利が非常に悪い所や、建物の密
集している場所が優先される。

議員 消防が来るまでの消火が
住民で出来るので消火栓の数をも
っと増やせないか。

村長 消防委員会等で協議し、必
要な箇所であれば対応していき
たい。

議員 消火栓よりもっと早く消
火に使えるのが消火器だが、村内
にもっと普及をはかるべきでは。

村長 消火器の設置については広
報等を通じて周知をしていきたい。



旧日本工芸館

旧日本工芸館の今後は

議員 皿山にある旧日本工芸館
は戦後の小石原焼の発展に、多大
な貢献をした三宅氏により建設
された建物である。石塔と共に現
代小石原焼繁栄の記念館として
保存すべきではないか。

村長 皿山地区の関係者の方達
と確認の上、今後の対応をしてい
きたい。



梶原文明 議員

東峰学園給食費の負担は
— 教育長 小中ともに1200円補助している

議員 東峰学園の給食費の負担
割合は小中学部とも同じか。

教育長 小学部4200円、中学
部4900円。保護者の自己負担
は、小学部3000円、中学部3
700円で、村からの補助金は、
小中学部とも1200円となっ
ている。

議員 近隣市町村との比較と、無
償化は。

教育長 村としては、30%近く補
助しているので、無償化は考えて
いない。給食法にて保護者の負担
もうたわれているので、今後も何
らかの形で負担をお願いしたい。

議員 食材が高騰する中、ふる
さと納税の寄付金を給食費に助
成しては。

村長 検討させて頂きたい。



給食

議員 給食費の保護者負担額に
ついて、今後の状況は。

教育長 今年200円値上げし
ましたので、数年維持できると
思う。

議員 食材の外国産使用はある
のか。

教育長 ほとんどが学校給食会
から取っているので、安全性に
ついては十分確保されていると
認識している。



柳瀬弘光 議員

旧宝珠山小活用は住民に意見を聴いたのか
— 村長 議会の承認が頂けたら説明を行いたい

議員 施設活用の計画性はある
のか。

村長 昨年の7月に一般社団法
人から、校舎を使った水耕栽培
の提案があり、今年8月末には
具体的な計画が村に提示されて
いる。全員協議会でも説明した
が、この提案を受け入れ、施設
の貸付けを行い、地域活性化の
ために活かしていきたいと考え
ている。

議員 企業に一度貸してしまう
と将来的に村が活用したいとき
には使用できないリスクがある。
長期的な視点で住民の方に望ま
れる施設活用へ向け、まずは住
民の方の意見を聴く機会を設け
るべきだと思うが村長の考えは。

村長 議会で施設貸付けの承認
が頂けたら、早急に住民の方へ

説明は行いたい。また、雇用と
いう形を考えると是非とも住民
の方にご理解をいただきたい。

議員 一番に取り組むべきは住
民の声を聴くことではないか。

村長 企業が確定した段階で住
民に説明した方が理解を得られ
ると思う。



旧宝珠山小学校



高橋弘展 議員

専門職を嘱託職員で対応するのには好ましいか
— 村長 問題はありながらも現状は流れている

議員 現在、専門職を嘱託職員で対応している。例えばケアマネージャー等は、正規職員である必要はないのか。

村長 福祉関係の資格等を持つ職員を本来は育てなければならぬが、時間的に経験を積ませることができないため。

議員 非正規職員は最大何年間継続雇用ができるのか。

村長 嘱託職員は1年。更新ができ、3年を過ぎると一方的な解雇ができない。臨時職員は6ヶ月。更新は1回で最長1年。一旦辞めた後の再雇用は可能。

議員 再雇用の場合は前職の経験等を加味された給与が検討されているのか。

総務課長 嘱託職員は役職に応



東峰村役場

じて定められた給与で、昇給もなく、雇用期間は同一の給与となる。

議員 非正規が続くことが社会問題となっている。専門職を非正規で対応するのが好ましいか検討できないか。

村長 私も問題意識を持っている。しかし、今の段階では問題はあるながらも現状は流れている状況である。



佐々木 紀嘉 議員

高齢者の配食サービスを増やすことはできないか
— 村長 増やす方向でニーズ調査

議員 週一回の配食では栄養バランスを心配する。もっと増やすことはできないか。

村長 増やす方向でニーズ調査等を行い、社会福祉協議会、民生委員と検討させていただく。

ふるさと納税の取り組みは

議員 ふるさと納税はチーム東峰を組んで本気でやらないか。

村長 結果を出していける取り組みをしていきたい。

村民表彰・感謝状のあり方は

議員 表彰、感謝状の規定を制定し、村民の功績をたたえたらどうか。

村長 村には表彰・感謝状規定がない。この件は早急に取り組んでいく。



配食サービス

新教育委員会制度は

議員 新たな教育委員会制度が始まっているが、どのような制度なのか。

教育長 改正のポイントが4つある。

①教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置、②教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化、③「総合教育会議」を設置、④教育に関する「大綱」を首長が策定するとなっている。



高倉寛視 議員

有害鳥獣防護柵の補助対象は
— 村長 補助対象は農業者になる

議員 家の近くまでイノシシが来て怖いから、フェンスを設置した方がいる。農業者だけに補助するのはではなく、村民の側に立って、考えてもらえないか。

村長 住民の方に危害が及ぶことであればこの補助金ではなく、地域協働の村づくり基金があるので有効に使っていただきたい。

大雨時の下流域への連絡網は

議員 村内上流で大雨が降ったとき、下流にあるポーン太の森や、親水公園の川で遊んでいる人に避難指示等の連絡網はできないか。

村長 「自己責任でお願いします」という看板を立てているので、来られた方も危険を予測して川に入っていたきたい。



ポーン太の森

議員 現在のような異常気象では、どのような大雨になるか予想がつかない。危険周知の看板を立てているので、「来客者の自己責任ではないか」というのは、観光客として来てもらっている人々にあまりにも無責任ではないか。

村長 行政に責任があるのかというのとは違うのではないかと。後庁議の中でも話をし、対応を取っていききたいと思う。

議会だより勉強中

町村議会広報クリニック参加

平成28年7月14日全国町村議員会館において、「議会活動に対する住民の皆さんの関心と理解を深めることを目的」とした広報研修会が開催され、西日本地区より29町村議会の参加がありました。

議会広報委員5名が参加し、細部にわたって個別クリニックを受けました。全体的にはお褒めの言葉をいただきましたが、指摘を受けた部分は今後の課題として取り組み、さらに充実した広報紙づくりを目指してまいります。



具体的な指導をいただきました

環境美化委員に聴く



今回は、小石原地域担当の和田秀利さん(73、鼓地区在住)の環境美化活動に同行させて頂き、お話を伺いました。

村内に落ちていたゴミの状況は

以前に比べるとゴミの量は減っていると思います。ただ、道路脇の停車スペースや橋の付近に、雑誌や飲食後の容器、空き缶、ビニール袋等が投棄されています。他にも肥料袋やビニールマルチも落ちていたり、また、重たい椅子等の粗大ごみを捨てている場合もあるので、一人で引き上げるのに苦労したことがあります。

環境美化委員として感じる事は

2年間の委員活動では色々ありました。

道路近くの畑のゴミを拾っていると、泥棒と間違えられて怒られたこともあります。また、作業後に、掃除した場所を通ると再びゴミが捨てられていた時にはがっかりしました。

一方で、作業中に「いつもご苦労様」と声を掛けられることや、「じいちゃんが清掃活動をしてい

るから、私も公園でゴミを拾ってよ」と孫娘から話を聞くと嬉しい気持ちになります。

お話をうかがう中で、和田さんの希望として、「ゴミのポイ捨てをしないで欲しい。また、一人が気づいた時にゴミを拾っていけば、もっと村がキレイになる」と言っていました。

今後も、美しい村を維持できるようにご協力お願いいたします。



編集後記

山々がゆっくりと色づきはじめ、紅葉の季節となりました。9月には大型台風が2回接近しましたが、本村においては被害が少なかった事に安堵しています。

9月11日には東峰学園の運動会が開催されました。台風により練習時間が予定より短くなり心配したそうです。当日は天気にも恵まれ、子どもたちはつらつとした姿に感動しました。

これからふれあい運動会や秋祭り等、秋の催しが予定されています。日々忙しくなると思いますが、気をつけてお過ごしください。

議長	大蔵	久徳	副委員長	柳瀬	弘光	環境美化特別委員	高橋	弘展
発行責任者	伊藤	均	委員	長澤	貞義	委員	黒川	隆康